

令和07年6月（第2回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 水野 忠三 議員

- 1 本市の災害時の備蓄品(防災用品など)の状況等について問う
 - (1) 本市(行政)としての現状はどうか。
 - (2) 本市内の各行政区の状況等はどうか。
 - (3) 現在の備蓄品の種類や数量等について、課題認識は。
 - (4) 災害時の ① 掃除、② 洗濯、③ 食器洗い、④ 除菌、⑤ 脱臭・消臭などに対して、それぞれ備蓄内容に課題があると考えるが、見解は。
 - (5) 関連して、特に停電時の洗濯や長期にわたる断水等に対して、対策がさらに必要と考えるが、見解は。
 - (6) 災害時備蓄用多機能洗淨剤について、認識は。
 - (7) 本市でも災害時備蓄用多機能洗淨剤等を備蓄すべきと考えるが、見解は。
 - (8) 安全性、機能性、利便性などの観点から、有益な活用が可能な備蓄品等の今後の内容の充実に向けて、方針等は。
- 2 本市における P F S 及び S I B の活用の可能性について問う
 - (1) 社会課題解決のためにインパクトのある事業を行政が行う際に、「失敗を恐れないチャレンジできる行政」という視点も必要と考えるが、見解は。
 - (2) 本市の行政における成果連動の導入等について、現状は。
 - (3) P F S (成果連動型民間委託契約方式)及び S I B (ソーシャル・インパクト・ボンド)について、認識は。
 - (4) P F S 及び S I B に関連する国や愛知県の近年の動向、また、他自治体での P F S や S I B 的発想の先進事例等について、認識及び見解は。
 - (5) P F S 及び S I B に関連して、本市の資金調達の多様化、特に主要 4 財源(地方税、地方交付税、国庫支出金、地方債)以外の資金調達の可能性にさらに向き合う意義について、見解は。
 - (6) 本市においても、P F S や S I B 的発想を導入できる様々な分野があると考えるが、将来的に導入の可能性があると考える分野は。
 - (7) 今後の本市における、P F S ・ S I B 的発想や P F S ・ S I B の制度設計の導入・活用などについて、方針等は。
- 3 国の「地方創生 2.0」と関連して、「ふるさと住民登録制度」について問う
 - (1) 本市の関係人口を増やす取組等について、現状は。
 - (2) 居住地以外の地域と継続的に関わる人に「第二の住民票」を交付する「ふるさと住民登録制度」について、認識は。
 - (3) 今後、「ふるさと住民登録制度」が導入された場合に備えて、本市の戦略的対応・対策に向けた検討・研究等を「今から」開始すべきと考えるが、課題認識及び見解は。

- (4) ファンとして本市を応援していただける方や本市と深い関わりを持っていただける方を増やすこともK P I (重要業績評価指標)の指標に取り入れていくべきと考えるが、見解は。
- (5) 「ふるさと住民登録制度」導入の可能性も見据えた上で、今後の本市の方針及び取組等は。

4 国の「地方創生2.0」と関連して、自治体に対する「伴走支援」制度について問う

- (1) 国の地方創生の一環としての、中央省庁の官僚が地方自治体の課題解決を助ける「伴走支援」について、認識は。
- (2) 人口減少や移住、観光、子育て支援などの、自治体の課題について、国の支援官が施策立案等を助言するとのことだが、本市における本「伴走支援」制度の活用可能性は。
- (3) 本「伴走支援」制度に対し、本市は、今年度は応募したか。また、応募の有無の理由等は。
- (4) 関連して、今後、本市の具体的な課題解決に際し、国の中央官僚の「伴走」を求めることには、メリットとデメリットの両面がそれぞれありうると考えるが、見解は。
- (5) 来年度以降の本「伴走支援」制度への本市の応募等について、判断の基準等も含めて問う。

2 井上 真砂美 議員

1 個性あるまちづくりについて

- (1) 史跡公園の鳥居建民家や竪穴住居が存続できた経緯はどのようなか。
- (2) 史跡公園のように、他にも地域の歴史的価値を守るなどの取組としてどのような事例があるか。
- (3) 岩倉市では、400年以上の歴史を持つ「3台の山車」が地域の誇りとして受け継がれているが、今般、会員の高齢化や担い手不足など継続性に懸念があるとの話も耳にすることがある。現状と対策についてはどのようなか。

2 令和7年3月31日をもって閉館した希望の家の備品の活用について

- (1) 希望の家の備品にはどのようなものがあるか。
- (2) 希望の家の陶芸窯を移設して存続することはできないか。
- (3) 希望の家の備品を譲渡会等により、再活用はできないか。

3 岩倉桜まつりについて

- (1) 桜まつり期間中の岩倉駅や石仏駅の乗降者の状況はいかがであったか。
- (2) お祭り広場や八剱憩いの広場、夢さくら公園のにぎわいはいかがであったか。

- (3) 来年度に向けて、石仏駅近辺の民間企業による店舗開業に伴う変化を鑑みて、石仏駅から10分の立地条件にある五条川の桜観賞の呼び込みを拡大させてもよいのではないか。

4 「学びの多様化学校」設置促進に向けた支援制度の拡充について

- (1) 「不登校特例校」との違いはどのようなか。
- (2) 岩倉市教育支援センター「おおくす」は、「学びの多様化学校」設置促進に対してどのように変容していく可能性があるのか。
- (3) 児童・生徒の興味関心の多様性にどう対応するか。

5 暑さ対策について

- (1) いわくら涼みどころの設置計画はどうか。
- (2) 五条川沿いにクールシェルター設置の計画はあるのか。

3 塚崎 海緒 議員

1 農業用排水機場整備について問う

- (1) 北島・野寄排水機場について、更新計画の状況はどうか。
- (2) 一宮市の受益区域が含まれているが、どのような協議がされているか。
- (3) 排水機場更新事業で見込まれる予算はどの程度か。
- (4) 一宮市の受益区域はどのくらいあるか。
- (5) 今後の更新にあたり、条例改正等の必要性やスケジュールの見通しは。
- (6) 市民負担軽減のため、早めに協議を。

2 公益通報不受理に迫る

- (1) 尾張中北消防指令センターにかかる公益通報を不受理にした事実はあるか。
- (2) 不受理の理由は何か。
- (3) 6市3町全自治体で不受理だが協議したのか。
- (4) 尾張中北消防指令センターは協議会だが責任者は誰か。
- (5) 個人情報保護に関わる内容であり、調査すべきではないか。
- (6) 行政機関が講ずべき安全管理措置は十分と言えるか。
- (7) 今年度システム改修予算が組まれているが、個人情報保護の安全管理措置は考えられているか。
- (8) 公益通報内容が事実であれば重大な権利侵害になる可能性があるため、調査と対応を。

3 公文書にデジタル対応デザインを

- (1) 公文書は誰のものか市長答弁を求める。
- (2) 岩倉市における公文書について、A4縦型とA4横型の比率はどうか。

- (3) 分かりやすい公文書を目指した過去の実組はどのようなか。
- (4) 早急に公文書A4横レイアウトへの統一を。

4 鬼頭 博和 議員

1 市内公園での喫煙の制限について

- (1) 健康増進法において、主に屋外での望まない受動喫煙を防止するためにどのような対策が必要か。
- (2) 市民から受動喫煙に関する苦情や要望はどれくらい寄せられているか。
- (3) 健康都市宣言に基づき、市民の健康を守る施策を進める中で、公園における禁煙の必要性をどう考えるか。
- (4) 先進自治体では、公園を全面禁煙とする動きが進んでいるが、岩倉市としての現状と方針はどのようなか。
- (5) 公園や児童遊園に喫煙禁止区域を設定することで、子どもや高齢者を受動喫煙から守る効果について、市はどのように考えているのか。
- (6) 市内の公園や児童遊園を喫煙禁止区域に指定するべきではないか。
- (7) 喫煙禁止区域の指定にあたり、市の条例を改正する必要があるのか。また、喫煙者向けの啓発や代替喫煙スペースについてはどのように考えているか。

2 避難所の環境改善について

- (1) 本市では、現在、避難所でのトイレ設置基準はいくつになっているのか。
- (2) 昨年12月に改訂された避難所の運営指針で明記された「スフィア基準」について、本市での避難所のトイレ設置基準をどのように考えているのか。
- (3) スフィア基準に基づく「トイレを20人に1基」及び「入浴施設の基準」に対する取組についてどう考えているのか。
- (4) スフィア基準に基づく避難所内の一人当たりのスペースを「最低3.5平方メートル（畳2畳分）」とし、段ボールベッドなどが置ける広さの確保を目指す取組について、本市の状況はどのようなか。
- (5) 政府では、被災地のニーズに応じてキッチンカーやトイレトレーラー、ランドリーカー等を迅速に提供するための事前登録制度を検討している。本市においてはどのように考えているのか。
- (6) 政府では、災害ボランティアとして活動する専門の支援団体に対して事前登録制度の創設を検討している。本市ではどのように考えているのか。

5 木村 冬樹 議員

1 再度、ふるさと納税の本質的問題点を問う

- (1) 昨年度のふるさとといわくら応援寄附金と税控除との収支状況はどうだったか。
- (2) 返礼品に係る経費は全体としてどれくらいの割合になるのか。実質的な寄附金額はどれくらいになるのか。

- (3) 税控除分の一部は地方交付税措置されるが、どれくらいの割合で措置されているのか。
- (4) 競争の過熱の裏でランキングが停滞・固定化されていていっている現状をどう見ているのか。
- (5) 企業版ふるさと納税は財政民主主義を歪めないか。
- (6) 自治体間では、ふるさと納税の本質的問題の議論は行われていないのか。

2 来年度からの「こども誰でも通園制度」にどう対応していくのか

- (1) 「全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備する」制度と言えるのか。
- (2) 保育現場からは、この制度に対してどのような声が上がっているのか。
- (3) 制度への市の関与はどうか。市がしっかりと関与していくべきではないか。
- (4) どのような形で制度を実施していく考えなのか。

3 スズメバチ等駆除委託料の減額をどう考えるか

- (1) 過去5年間の一般家庭における駆除件数の推移はどうか。
- (2) 近隣市町の実施状況はどうなっているか。
- (3) 予算の柔軟な執行を求める。

4 住民の不安に寄り添ったPFAS対応を求める

- (1) 本市としても理不尽な状況と考えるが、国のPFASへの対応をどう見ているのか。
- (2) 今後、水源検査をどのように実施していくのか。
- (3) PFAS検出の水源を使用している地域への対応をどう考えているのか。
- (4) PFAS検出の水源の使用を止め、県水に切り替えるべきではないか。
- (5) リスク評価の早期確定、国と自治体の役割や責任の明確化、住民の血液検査実施、水道事業の財政支援など、改めて国へ要望すべきではないか。

6 日比野 走 議員

1 オンライン申請方式について

- (1) オンライン申請のおおよその件数は。
- (2) 職員の業務量削減、対応時間短縮等にどの程度効果があるのか。
- (3) オンライン申請の導入によって、市民の窓口申請における所要時間がどの程度削減できたといえるか。
- (4) ホームページでのオンライン申請方式を本市の公式LINEにも追加することはできないか。

2 福井県大野市との交流について

- (1) 岩倉市と大野市が交流するようになった背景を改めて問う。

- (2) 岩倉市、大野市それぞれ一年ごとに関わる人口はどのくらいか。
- (3) 交流する方々は、どのような魅力を感じて両市を観光されているか。
- (4) 今後、両市の関係人口が増加するような施策等は考えているか。
- (5) 交流の延長として、大野市との二地域居住を促進してみては。

7 梶谷 規子 議員

1 資格確認書を一律に交付を

- (1) マイナ保険証を持つか持たないかの切り分けは、行政資源の無駄遣いではないか。
- (2) マイナ保険証を持っている人にも一律に交付を。

2 子どもの尊厳を大切に

- (1) 健康診断での配慮をすべての学校で。

3 不登校を生み出す学校教育を見直し、子どもの権利を尊重し、安心できる支援を

- (1) 新学習指導要領において、詰め込みが進められ、多すぎる学習内容をこなすための宿題も増えているのではないか。
- (2) 全国学力テストの実施において、学校を点数競争に巻き込み、教員も子どももストレスの要因になったのではないか。
- (3) 教育基本法改正で、子ども・教員の「自他の敬愛と協力」がなくなり、「規律を重んじる」ことが協調されたが、岩倉市ではどうか。
- (4) 教員の多忙化の中で、子どもと向き合う時間が取れなくなっていないか。
- (5) 国の不登校対策は、「教育機会確保法」のもとで「学習活動」への支援が中心となっているが、岩倉市ではどうか。
- (6) 子どもの心への理解と休息と回復の保障を基本に据えたものになっているか。
- (7) 子どもが安心して過ごせる場を多く。
- (8) 保護者への支援を手厚く。
 - ① 相談窓口は十分か。
 - ② 不登校休業制度の周知を。

8 梅村 均 議員

1 アデリア総合体育文化センターのトレーニング室は、なぜ中学生は利用できないのか、条件付きでも利用できないものか

- (1) 民間施設も新たに出来ているが、最近の利用状況はどのようなか。
- (2) 中学生利用の考えは。

2 中学校運動場の地域開放を

- (1) 市内2校ある中学校体育施設の地域開放の現状は。

- (2) 部活動の活動日が制限され、地域移行も進められているが、中学校運動場も地域開放してはどうか。

3 今後も進む高齢化社会に向け「住まい支援」の拡充が必要ではないか

- (1) 高齢者における住宅確保や居住支援の現状は。対応は十分か。
- (2) 住宅セーフティネット法等の一部改正を受け、低所得者のみならず、一定所得のある高齢単身者の住居確保の支援体制は十分か。
- (3) 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給には、大家さんの不安軽減がポイントであるが、法改正による整備内容は周知されているか。
- (4) 単身化が増えることが予想される中、地域での心地よい暮らしができるよう、役割、つながりが持てるような取組が施設にあるとよいと思うがどうか。
- (5) 今年度は第5次総合計画中間見直しが予定されているが、こうした計画への記載や、住宅マスタープランなど、何らかの計画策定の考えはどうか。

9 関戸 郁文 議員

1 岩倉市公共建物で働く職員や利用者の安全管理について問う

- (1) 本市の公共建物内でのトラブルの状況はどのようなか。
- (2) 想定されるトラブルに対する対策はどのようなか。必要な対策はとられているか。
- (3) 近隣市町の防犯カメラ設置等の状況はどのようなか。
- (4) 防犯カメラ設置の有効性、必要性はどのように認識しているか。
- (5) 防犯カメラ設置等利用者の安全を高める計画はあるのか。

2 公共施設の窓口や電話の音声の録音について本市の見解は

- (1) 民間ではさまざまなメリットから窓口等の会話や電話の音声の録音されているが本市の公共施設ではどのようなか。
- (2) 近隣市町ではどのようなか。
- (3) 機器の設置への課題は何か。
- (4) 職員の会話の質向上にもつながる会話録音は必須と考えるが本市の見解を問う。

3 本市職員移動手段の合理化、効率化について問う

- (1) 電動二輪車、電動三輪車、電動立ち乗り二輪車などの活用が有効だと考えるが見解は。
- (2) 消防活動、災害救援活動において二輪車は活動範囲も広がり有効と考えるが見解は。

10 堀江 珠恵 議員

1 産後の母親の健康と休息を支える産後ケアの重要性について

- (1) 本市の産後うつや母親の休息不足への対策について、どのように認識をしているか。
- (2) 健診でうつ状態のチェックを行う中で相談はあるのか。
- (3) 産後ケア事業において、母親の休息や精神的サポートを強化するために、どのような対策をしているのか。
- (4) 産後ドゥーラを導入してみてもどうか。

2 社会的自立を目指した支援へ

- (1) 本市における不登校の児童・生徒はどれくらいか。
- (2) メンタルフレンドの登録はあるのか。
- (3) メンタルフレンドになるための条件はあるのか。
- (4) メンタルフレンドになるための条件に不登校経験者を取り入れることはできないか。
- (5) オンラインを活用したメンタルフレンド活動はどうか。

11 大野 慎治 議員

1 一時保育の充実に向けて問う

- (1) 認定こども園曽野第二幼稚園子どもの庭保育園における一時保育の利用人数は。
- (2) 東部保育園内リフレッシュ保育室におけるリフレッシュ保育の利用人数は。
- (3) 図書館など公共施設での短時間の一時保育制度を実施するべきではないか。

2 官民連携について問う

- (1) 本市における官民連携の方針及び具体的な取組は。

3 マタニティ応援プロジェクトの導入に向けて問う

- (1) 出産を控えた妊婦さんに毎月お米を5kg又は10kgを送るプロジェクトを始めてはどうか。

4 大阪府泉大津市のあしゅびプロジェクトの取組について問う

- (1) 本市においても、あしゅびプロジェクトのような取組を始めてはどうか。

5 熱中症対策について問う

- (1) 児童・生徒への登下校時における熱中症対策として、どのような対策をしているのか。
- (2) 小・中学校の空調設備（エアコン）稼働の基準はどのようになっているのか。
- (3) 小・中学校の体育館等の空調設備（エアコン）は9月から試運転できるのか。
- (4) 令和7年6月1日から職場の熱中症対策が義務化されたが、本市における取組はどのようになっているか。

6 児童遊園の遊具の管理について問う

- (1) 滑り台を更新するべきではないか。

12 片岡 健一郎 議員

1 公共施設の廃止や統合に伴う跡地利用について問う

- (1) 廃止や統合に伴う跡地の活用方法はどのようなプロセスを経て検討がされるのか。
- (2) 希望の家の跡地利用についての検討状況はどうか。
- (3) 保育園統合による北部保育園、仙奈保育園、あゆみの家の跡地利用についての検討状況はどうか。
- (4) 跡地利用としてドッグランやバーベキュー施設など市民の憩いや賑わいの拠点となる施設の整備への活用について当局の見解を問う。

2 安全安心な歩道整備について

- (1) 歩道の幅員について法的な根拠はどうか。
- (2) 歩道に並木やベンチなどの路上施設等を設ける際に必要な歩道の幅員はどう変わるか。
- (3) 現状の岩倉市内に存在する歩道は道路構造令の基準に適合していない箇所はないか。
- (4) 道路構造令の基準に適合している歩道だが、安全面において課題があると思われる歩道について当局の見解を問う。
- (5) 緑化を推進する歩道と安全確保を優先する歩道をしっかり区別し、整備計画を立案してはどうか。

3 学ぶ機会を全ての子どもたちに

- (1) ひとり親世帯・低所得の世帯における大学進学に対する補助はどのようなものがあるか。
- (2) 受験にかかる費用を補助する制度を独自で実施している自治体があるが見解はどうか。
- (3) 子育て応援の施策の一つとして、ひとり親世帯・低所得の世帯における大学受験にかかる費用を補助する制度を検討できないか。

13 谷平 敬子 議員

1 廃油の回収とリサイクルについて

- (1) 現在の廃油回収の実施状況と回収量の推移はどうか。
- (2) 本市としては、どのような取組を考えているのか。
- (3) 環境啓発と住民参加の促進について、今後の方針はどうか。

2 がん患者へのエピテーゼに対する助成について

- (1) がん患者向けのウィッグ・乳房補整具について、購入費助成の利用状況はどのようなか。
- (2) 本市において、エピテーゼの必要性や利用実態をどのように把握しているか。
- (3) 本市の助成対象にエピテーゼを加えることはできないか。